市民意見提出手続（パブリック・コメント）の実施結果について

「宗像市産業振興計画（案）」について、市民意見提出手続（パブリック・コメント）を実施しました。その結果は次のとおりでしたので、報告します。

計画・条例案等の名称	宗像市産業振興計画（案）	
内容	平成 28 年度に策定した「宗像市産業振興計画」の期間終了につき、社会情勢の変化等を踏まえ、産業振興の実現に向けた方向性を整理するもの。	
実施期間	令和 3 年 1 月 15 日（金）～令和 3 年 2 月 15 日（月） 32 日間	
意見提出状況	2 人	10 件
提出された意見の内容及びその回答	別紙「宗像市産業振興計画（案）に関する市民意見提出手続の意見及びその回答」のとおりです。	
問合せ先	産業振興部　商工観光課　産業政策室　産業政策係 〒811-3492 宗像市東郷１丁目１番１号 TEL：0940-36-9039 FAX：0940-36-0320	

宗像市産業振興計画（案）に関する市民意見提出手続の意見及びその回答

箇所	意　　見	対応	回　　答
P4 第２章　基本的な方針 2　基本方針	「おカネを稼ぐ」「ヒト」「モノ」「コト」について 言葉のカタカナ表記、稼ぐという表現に違和感があります。特に、ヒトと書く場合は生物学的意味合いが強いとい認識しています。総合計画や基本計画との整合性があるとは思いますが、検討していただきたい。	原案どおり	経営の三要素である「人、物、金」は、それぞれの漢字以上の意味合いをこめ、一般的にカタカナ表記されます。基本方針では、「ヒト、モノ、カネ」に加え、観光資源における「無形文化」等を「コト」と表現し、本市の重要な資源として表現しています。 また、「稼ぐ」という表現については、企業誘致などにより税収入を増やす「自治体が稼ぐ」という意味と、地域の事業者が生み出す商品・サービスの売上向上等により、地域産業の活性化が図られる「地域が稼ぐ」という意味で使用しています。
P18 第３章　宗像市の産業の現状 4　観光 〇観光資源の有効活用と情報発信	「地域の観光資源の磨き上げが求められています。」→この点は広く課題を共有する必要があるから記載されているのでありますから、磨き上げがどのようなことなのか具体的に記載したほうが私達市民も理解しやすいと思いますがいかがでしょうか？	一部修正	「地域の観光資源の磨き上げが求められています。」を「体験型観光メニューの開発など、地域資源の磨き上げが求められています。」に修正します。
P18 第３章　宗像市の産業の現状 4　観光 〇観光資源の有効活用と情報発信	「舵取り役が必要」→こちらも課題であるのならば舵取り役とは何のことなのか具体的に記載したほうがわかりやすいのではないでしょうか？	一部修正	「データに基づく戦略策定や効果的な情報発信を地域が一体となって取り組むための舵取り役が必要です。」を「多様な関係者と力を合わせて、データに基づく戦略策定や、戦略を着実に実施するための調整機能を備えた舵取り役が必要です。」に修正します。
P23,25 第３章　宗像市の産業の現状 6　本市産業の分析	青色下地に黒字標記など見づらい点は改善されたほうがよろしいのではないでしょうか？	一部修正	見やすい色に修正します。
P24 第３章　宗像市の産業の現状 6　本市産業の分析	水産業の最大の弱みは水産資源の枯渇ではないのでしょうか？	原案どおり	水産資源の減少について明確なデータがないため原案どおりとします。 現在、漁場再生事業や稚魚、稚貝の放流など資源回復に取り組んでおり、今後も資源管理に対する取組を支援します。

P28	地域産業を担う人材発掘→本計画には少子超高齢化である日本全体の課題であり、市内経営者の悩みの一つである「働き手不足、雇用の問題」が触れられていないと思います。例えば、コロナ前までですが、飲食店では学生アルバイト不足により外国人アルバイトを雇う店舗も増えていました。また、福祉施設でも慢性的な職員不足、離職が問題となっています。産業振興に欠かせない重要な課題を解決するための取組ですから計画に盛り込むべきと考えます。「女性」や「障がい者」などを受け入れ、活躍できる機会を市内事業所の経営者の理解を得ながら増やしていく必要があるのではないでしょうか？	一部修正	少子高齢化や人口減少に伴う労働人口の減少については、「P22　5　情勢の変化　■その他」に記載しております。 「女性」や「障がい者」などの雇用、活躍できる機会については、P28 の施策の取組方針中「意欲のある人たちがチャレンジしやすい環境整備、人材育成の支援、雇用機会の創出に向けた支援を実施します。」を「女性や障がい者を含む意欲のある人たちがチャレンジしやすい環境整備、人材育成の支援、雇用機会の創出に向けた支援を実施します。」に修正します。
P28 第 5 章　施策と取組方針 1　地域産業を担う人材を発掘し、集め、共に育つ	新規就農者の確保、育成について 定年後、家庭菜園の農作物を産直販売所に出荷している方もあります。耕作放棄地などを活用した市民農園を拡大しては？職業としては位置付けられないと思いますが、定年後、居場所がないと言われる男性の活躍の場にもなると思います。	原案どおり	ご意見として賜ります。
P29 第 5 章　施策と取組方針 2　宗像の豊かな資源を守りながら、つないでいく	宗像に観光資源と言えるものは、あまりないのでは。観光よりも「暮らしやすさ」を産業に。野菜や魚などの地産地消ができる、子育てがしやすいなどの暮らしやすさも産業と位置付けて、充実させることで、転入者を増やすと同時に、現在、住んでいる人々も住んでよかったと思えるのではないでしょうか。	原案どおり	農林水産業の豊かな資源を守りながら、地産地消や暮しやすさのイメージの定着につながるよう取り組んでまいります。また、世界遺産をはじめ、素晴らしい地域資源が多くあると考えており、これらを守りつないでいくことで、魅力発信につなげてまいります。
P29 第 5 章　施策と取組方針 2　宗像の豊かな資源を守りながら、つないでいく	観光資源の維持管理について 観光資源として、世界遺産を重視され、電線等の地下埋設や茶色のガードレール設置などが行われていますが、投資に見合う収入があるのか疑問です。費用対効果を吟味され、市民の意見を広く聞いてほしいと思います。	原案どおり	市では、「宗像市景観条例」に基づき、良好な景観の形成のために様々な施策を講じています。景観も観光資源のひとつと捉え、その維持管理については費用対効果を意識しながら検討してまいります。
P34 第 6 章　計画の推進体制	市民の位置づけが必要では？	原案どおり	事業者や市民の皆様と一体となって産業振興に取り組むことを大前提としておりますので明記しておりません。施策を実施していくという意味で、計画推進の主体を市と明記しております。